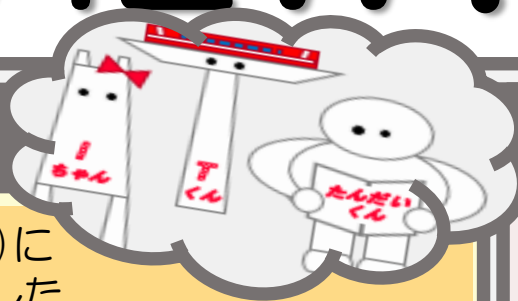




1 やりたいことが学べる



3 新聞を読む学生

女子高校生向けのオープンキャンパスが8月20日(土)に開催され、県内21の高校から34人の高校生が参加しました。本校は、IT技術を専門的に学ぶ施設設備が整っており、見学者も増えています。

本校では、「専門力」に加え「社会人基礎力」向上のため、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。



※【VRゴーグル】VRゴーグルとは仮想現実（バーチャルリアリティ）を体験することができるレンズが付いているゴーグルのことです。女子高生が使用したVRゴーグルは、自分の手でバーチャルの昆虫を手で掴むことができるので、皆さん楽しんでいました。

＜記事＞読売新聞(2022年7月13日)
「大学発ベンチャー3300社超す」

◇要約

●野村俊介さん(土浦工高卒)
近年、起業支援に力を入れる大学が増えている。それは技術革新や大学の収入増や学生確保などのメリットが期待できるからだ。これは世界との競争力が落ちてきた日本が他国の巨大IT企業に勝つ唯一希望かもしれない。

◇感想

●紺野 圭汰さん(水戸工高卒)
自分で一から起業することはとても難しいことだけど、大学が費用を出してくれるので最初のハードルはぐっと下がる。起業し良い評判になれば、それに費用を出した大学も有名になり、Win-Winな関係になると思う。

●原田 悟さん(石岡商高卒)
起業支援に力を入れる学校が増えているということなので、自分のライバルが増えているのかなと感じました。この人達に負けたくないためにも、このIT短大で社会人基礎力をしっかり身につけていきたいと思いました。

●中熊柚香さん(水戸第二高卒)
大学側から基礎的な知識を教えてくれる環境があるのは素晴らしいことである。ただ、その知識を使えるものにするのは学ぶ側の行動力と意欲が必要不可欠だと考える。私自身も将来社会で活躍したいので学ぶ意欲を大切にしていきたい。

●三木悠矢さん(水戸葵陵高卒)
大学生が起業することで、大学においてもマネジメント力やコミュニケーション力、プレゼン力、人との関わりなどを深められ技術革新、社会貢献、地域の発達などにつながる。

日本の遅れを改善するためにもこうした取り組みを続けてほしい。



「楽しいアルゴリズム」の授業風景

オープンキャンパスは、午前と午後に分かれ少人数で実施しました。主な内容は、次の通りです。

- ①学校紹介
- ②体験授業
ネットワークの仕組み
ロボットプログラミング
楽しいアルゴリズム、
セキュリティ技術
- ③企画体験(VRゴーグル※)
- ④OGとの座談会



「OGとの座談会」の様子

「OGとの座談会」では、女性エンジニアとして活躍する2人の先輩が、IT短大の学びで役立っていることや、仕事のやりがいなどについて話され、女子高生にエールを送っていました。



2 みんなの母校訪問!

県立水戸工業高等学校



勝田滋 校長

明治42年創立(令和元年に創立110周年)の伝統校です。卒業生は2万5千人を超え様々な分野で活躍しています。設置学科は、工業化学、機械、電気、情報技術、土木、建築の6学科で、体系的に専門技術を学び資格取得指導も充実しています。

勝田滋校長は「ITはいい友達、卒業生の皆さんのご活躍を願っています」と卒業生にメッセージをいただきました。

